大和民俗公園のお花見スポット－初夏－

4月下旬～5月上旬

ノダフジ

ヤマフジに対し、一般的なフジをノダフジとも呼びます。「春日野の藤」（奈良県）や「野田藤」（大阪府）は藤の名勝として有名。２０２４年から発行予定の新５千円札にも藤が採用されています。

5月上旬

ドウダンツツジ

ツツジの一種。つぼみの形が灯台（燈明の台）に似ていたことから、転じて「ドウダン」と呼ばれるようになったという説があります。

5月下旬

オオヤマレンゲ

モクレンの仲間で、江戸時代に園芸用として日本に伝わったとされています。奈良県南部の大峰山に自生していることが名前の由来。「ミヤマレンゲ」とも呼ばれます。

5月下旬～6月上旬

ハナショウブ

ノハナショウブの園芸種。５０００もの品種があり、アヤメやカキツバタとは葉の形で見分けられます。民俗公園の菖蒲園には、約７０種類１５００株が植えられています。

6月中旬

アジサイ

ホンアジサイ、セイヨウアジサイ、ガクアジサイがあります。枝がついた花のかたまりは「１朶（だ）、２朶…」と数えるのだそうです。

5月中旬～6月上旬

ウツギ(空木)

唱歌『夏は来ぬ』の歌詞に登場する「卯の花（ウノハナ）」はウツギの別名です。旧暦の４月を「卯月」というのは、ウツギの花が咲く季節であることが由来。バイカウツギ、ハコネウツギなど数種類のウツギがあります。

4月下旬～5月

ヒラドツツジ

古くから長崎県の平戸で栽培されていたことが名前の由来。鮮やかな白・赤・桃・赤紫の、大きな花を咲かせます。

5月中旬～

タイサンボク(泰山木／大山木)

白く大きな花を咲かせ、大きな葉をつけます。巨大なアスパラガスのような不思議な形の実をつけ、熟してはじけると中から赤い種が出てきます。

4月下旬～

ヤマブキ

鮮やかな黄色をした花の美しさは『万葉集』にも詠まれ、古くから日本人に親しまれてきました。一重のものと八重のものがあります。

5月上旬～

キリシマツツジ

ヒラドツツジに比べると、やや小ぶりの花を咲かせます。江戸時代に、鹿児島県の霧島に自生するツツジが江戸に運ばれて流行したとされています。明治時代には外国へ輸出され、欧米でも人気に。